

～平成23年度第1回コア会議が開催されました～



平成23年8月1日(月)に「公園マネジメント会議 平成23年度第1回コア会議」が愛・地球博記念公園 地球市民交流センターにて開催され、22名のコア会議メンバーの会員の方が出席しました。

議題として、総会の結果を振り返りながら今後の取り組みについて予定や新たなアイデアを出しあいました。また、会員からの提案に基づき、東日本大震災被災地へ私たちができる支援はないかを話し合いました。その他、新たにクリスマスイベントの企画運営を行う分科会が申請されたほか、営業ツール分科会についての説明、市民交流センターの予約方法に関するご意見提示のお知らせがありました。



総会の結果を振り返りながら、今年こそ成果に繋げるアイデアをひねり出そう!

5月の総会でテーマ別にグループで話し合った内容などをまとめた「活動提案とアクションプラン」について、既に取り組んでいるもの・取り組む予定のものを整理し、今年度、公園マネジメント会議があらたに取り組んでいくべき活動とその課題を明確にしました。



(主な意見・結果)

- ・「活動提案とアクションプラン」の全25項目のうち18項目で「実施済み」あるいは「実施予定」であり、7割以上は活動実施の目処が立ちそうである。
- ・食に関しては、色々な方法でかなりの活動が実施済み、あるいは実施予定であるが、「災害食」関連や「若者と農業をつなぐ」という点では、まだ具体的なプランがない。
- ・営業ツール(情報発信)については、「お母さんネットワークの活用」において、次の一步の見通しがない。
- ・環境ムーブメントに関しては、食と絡めた体験や環境大賞など、実行したい案はあるが、課題も多く実行できていない。
- ・地球市民交流センターについては、音楽やお化け屋敷などによる演出のアイデアがあるので、それらを実行することが必要である。



東日本大震災被災地支援について

公園マネジメント会議としてどのような支援ができるのかを考えていくために、今回はまず、公園マネジメント会議の会員が現時点で、どこで、どのような被災地支援に取り組んでいるのかについて、情報の共有を行い、多くの支援活動の報告がされました。また、会員の「ドングリモンゴリ」さんから、ドングリ事業による被災地支援の活動提案がありました。

(主な意見・結果)

- ・被災地につながるのがある会員もいるので、会員の全国ネットワーク力を活かし、そこを足がかりに何ができるか継続的に議論したい。また、会員へ協力を呼びかけていく。
- ・角和さんのドングリ事業については、もう一度確認の上、分科会を立ち上げる。

<会員の支援活動状況>

・現地のまちづくり(復興の話し合い)支援(気仙沼市)・アイヌ民族音楽イベントと「環境・災害に向きあう地域づくりフォーラム開催(石巻市)・RQ市民災害救援センターの活動支援(物資、泥かき、心のケアなど)、紙芝居プロジェクト(南三陸市)・被災地の小学生と愛知県の小学生との演奏交流・福島の子供(20名)を「尾張旭こども村」へ招待予定・ガイガカウンターで放射線エネルギーチェック・ガレキの撤去・愛知県内に避難所の運営支援・福島の方を招いてヒアリング予定・環境ピアノコンサートによる義援金



クリスマスフェスタ(仮称)企画運営分科会申請について

(承認)

- ・12月に地球市民交流センターを中心に開催イベントの企画運営を行う「クリスマスフェスタ(仮称)企画運営分科会」が申請され、承認されました。



お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当: 粟田
〒460-8501 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号
TEL: 052-954-6528 FAX: 052-953-5329

財団法人愛知都市整備協会 愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 林
〒480-1101 愛知郡長久手町大字熊張字茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

